

# 目 次

巻頭言 ..... 能美市介護老人保健施設はまなすの丘 明福真理子

## 実践報告

1. 生活機能の予後予測をした作業療法の重要性  
～諦めていた茶道教室に再び通うことが出来た一例を通して～  
..... 河北中央病院 市川 翔悟・他 1
2. 退院後訪問を経験して  
～生活期施設・家族との連携により退院後に大幅な能力向上を認めた一例～  
..... 金沢西病院 越仲 共子・他 6
3. 高齢者複合施設における訪問リハビリテーションの関わりにより  
活動範囲が拡大し、社会参加及び役割の獲得を図れた一事例  
..... 社会医療法人財団董仙会 恵寿総合病院 五十嵐満哉・他 11
4. 筋萎縮性側索硬化症患者にコミュニケーション機器を用いてやりたい作業が実現し、  
継続に向けた支援を行った事例  
..... 七尾病院 出村 完・他 17
5. 疼痛・不安により在宅復帰に難渋した人工膝関節置換術後の一症例  
—人工膝関節置換術経験者との話し合いの機会を活用して—  
..... 能美市立病院 竹内 理恵・他 21
6. リハ会議を活用した人工膝関節置換術後の高齢独居女性の主体的な生活再開の支援  
..... 能美市介護老人保健施設はまなすの丘 明福真理子・他 25
7. 関節リウマチによる手指MP関節変形に対するSwanson人工指関節置換術後の  
ハンドセラピー経験  
..... 金沢大学附属病院 小林亜里沙・他 29
8. 手関節完全切断再接着術後の長期ハンドセラピー経験  
—拘縮改善のためのスプリント療法とつまみ動作獲得に向けたハンドセラピー—  
..... 金沢医科大学病院 伊関 浩克・他 34

9. 手背開放損傷に伴うZoneVI伸筋腱断裂の一症例 —MP関節伸展位固定の試みと長期間の夜間固定— .....	能美市立病院	山田ともみ・他	40
10. 複合性局所疼痛症候群様症状の治療後, 手指の疼痛, 拘縮が遷延した 橈骨遠位端骨折・肘関節脱臼例の一年経過 .....	金沢大学附属病院	堀江 翔・他	44
投稿規定 .....			50
執筆要項 .....			51

## 巻頭言

能美市介護老人保健施設はまなすの丘

明福 真理子

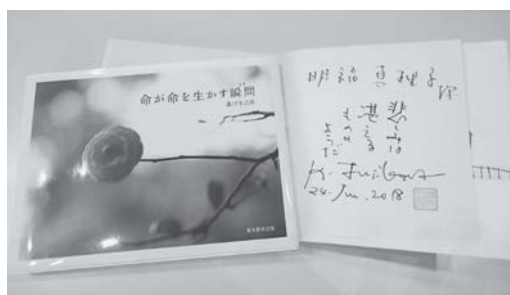
平成30年は激しい年であった。振り返ってみれば『平成最後の』という枕詞がついてまわる年となった。大雪や豪雨などの自然災害もあり、公私ともに大きな出来事に幾つも遭遇した。

中でも第27回石川県作業療法学会の学会長を拝命したことは、作業療法士人生での大きなイベントであった。テーマは『地域とともに作業療法』とし、どの分野に関わっている作業療法士であっても地域で生活する『人』を支援し、自分たちもまた地域で支えられていることを実感しながら作業療法を実践していくのだという思いを込めた。特別講演には詩人の藤川幸之助氏をお迎えすることができ、多くの演題発表をいただくこともできた。この場をお借りして感謝しお礼申し上げる。

学会発表や論文作成には多くのパワーを必要とする。しかし、実施後にはそれ以上のエネルギーをもらえるものである。10年以上前になるが他職種から「認知症の作業療法にはエビデンスが少ない」と厳しいお言葉をいただいたことがある。とてもショックであり悔しくもあった。それまで以上に文献を読み研修会にでかけるようになったが、答えを見つめることはできなかった。かねてから尊敬してやまない、ある先輩作業療法士に相談したところ「エビデンスとは自分たち一人ひとりの実践報告を積み上げて作っていくものである」との助言をいただいた。これもまたショックであった。エビデンスを得たいと思い勉強するだけでは駄目だというのだ。この時以来、目の前の対象者を支援するために学び、実践するだけではなく、それらをふり返ってまとめ、考察し、発表し、論文化する過程を継続するようになった。少しずつではあるが、根拠と自信を持って目の前の対象者を支援できることが増えたように感じている。

結びに、藤川氏の本から引用する。新しい元号となって時代が変わっても、作業療法は面白く且つ難しいものであり、その作業療法を専門とする作業療法士は世の中から必要とされる職種であり続けたいと思う。そのためには広く皆さんにも、共にエビデンスを積み上げる力を貸していただきたいと強く願う次第である。

『大問題が起こったとき  
この世界から自分への  
問いだと捉え直してみる』<sup>1</sup>



1 藤川幸之助、「命が命を生かす瞬間」<sup>とき</sup>、東本願寺出版、2013。

## 編集後記

「平成最後の」という言葉をよく聞きます。平成生まれの会員の方も増えてきていますが、皆様にはどんな出来事が思い浮かぶでしょうか。様々なことを振り返りながら、新たな年号に向けOTとしての存在感を増していけるように頑張っていきたいと思います。

さて今年も無事に本刊の発行に至りました。査読や編集にご協力頂いた皆様には心より感謝申し上げます。今年度は県士会での研究、発表サポート事業を開始し、今回の雑誌にも論文支援を行ったケースが含まれております。相談件数はまだ多くないですが、学会発表、論文支援に限らず学術的な支援を行っていくつもりですので、どしどしご相談ください。

学術部担当理事	麦井 直樹
	河野 光伸
学術誌編集委員長	堀江 翔
編集委員	出雲 健志
	西 悦子
	小林亜里沙
	寺嶋 翔子
	仁木 裕也
	白田 明莉
	岡本 聡美
	越田 雄
	宮腰 真
	大西 知江
	山本 紗季
	米田美登里
	柳内百合香
	杉中 菜子
	菊池 ゆひ
	高間 達也

石川県作業療法学術雑誌（第27巻 1号）（通巻27号）

2019年3月15日発行

編集 公益社団法人 石川県作業療法士会

発行所 公益社団法人 石川県作業療法士会

印刷 ヨシダ印刷株式会社